

若年フリーターの構造化

—— 格差社会の基礎としての労働市場

齊藤吉広

●要約

若年層に「フリーター」という働き方が広まっている。彼らは、安くて柔軟な“使い捨て”労働力として産業界の要請により組織されてきたものだ。世間からのフリーターへの視線は概して冷たいものだが、彼らの存在は、労働力市場全体がフリーター化して格差社会が編成されていく傾向を先駆的に示すものであるに他ならない。

●キーワード

フリーター

労働市場

格差社会